



スクールレポート

SCHOOL REPORT 89

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「大草相撲」と「もち米の収穫」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

大草小学校 「大草相撲」

お相撲さんを招待して、相撲大会を開催

市内の小中学校で唯一「相撲場」のある大草小学校では、1年に3回、「相撲大会」を行っています。

5月の「春場所」は運動会の種目として、7月の「夏場所」は夏休み親子ふれあい集会の一環として、そして9月の「秋場所」は児童会活動の行事として、全校児童が参加します。

特に、「夏場所」では、毎年、相撲部屋のお相撲さんを招待して、基本を教えていただいたり、対戦したりして、相撲に親しんでいます。

本年度は、豊橋市出身で藤島部屋の藤大成さんをお迎えして、「四股」や「股割り」などの基礎練習の一端を紹介していただきました。大きな体のお相撲さんが両脚をいっぱいにかき、上半身を地面につける股割りの様子を見て、体の柔らかさにびっくりしていました。

また、男子全員に四股名があります。それぞれの対戦では、呼び出しに合わせて、「よっ、響丸」「よっ、波琉錦」などと、大きな声援に後押しされて、真剣勝負に挑んでいます。



●1年生4人がかりで藤大成さんに挑戦



●5年生女子の取り組みの様子

若戸小学校 「もち米の収穫」

昔の人の知恵をたくさん学びました



●脱穀の様子



●唐箕を使って分別しました

若戸小学校では、5年生がもち米の収穫をしました。昨年度までは、全校で8aの田植えをしていました。しかし、お米とじっくり向き合おうと考え、地域の方のお世話になりながら、5年生が3aの広さで、もち米を田植えから稲刈りまで、機械に頼ることなく手がけました。

ジャンボタニシ取りはとても大変でした。夏休みには、稲刈りのための「すがいない」も行いました。最初は苦戦しましたが、すぐに慣れ、立派なすがいがたくさんできました。

刈り取った稲は、明治時代に使われていた「足踏み脱穀機」で脱穀しました。踏むタイミングが難しく、なかなか思うようにいきませんでした。もみは、「唐箕」を使って、重さによる分別を行い、天日干ししました。一升瓶と竹の棒を使って、もみすり体験もしました。青わらを保管し、しめ縄も作りました。これらの体験を通じ、昔の人の知恵をたくさん学んだ1年間でした。

「全校もちつき集会」でついたおもちも、最高においしかったです。このおもちを使ってB級グルメに挑戦していきます。他の学年も、「若戸の人・もの・こと」とかかわりながら、ふるさと学習を進め、成果を「ゆりのき学習発表会」で発表しました。「大好き！若戸っ子」が育つことを願っています。